

令和 2(2020)年度 学生による授業評価アンケートの分析

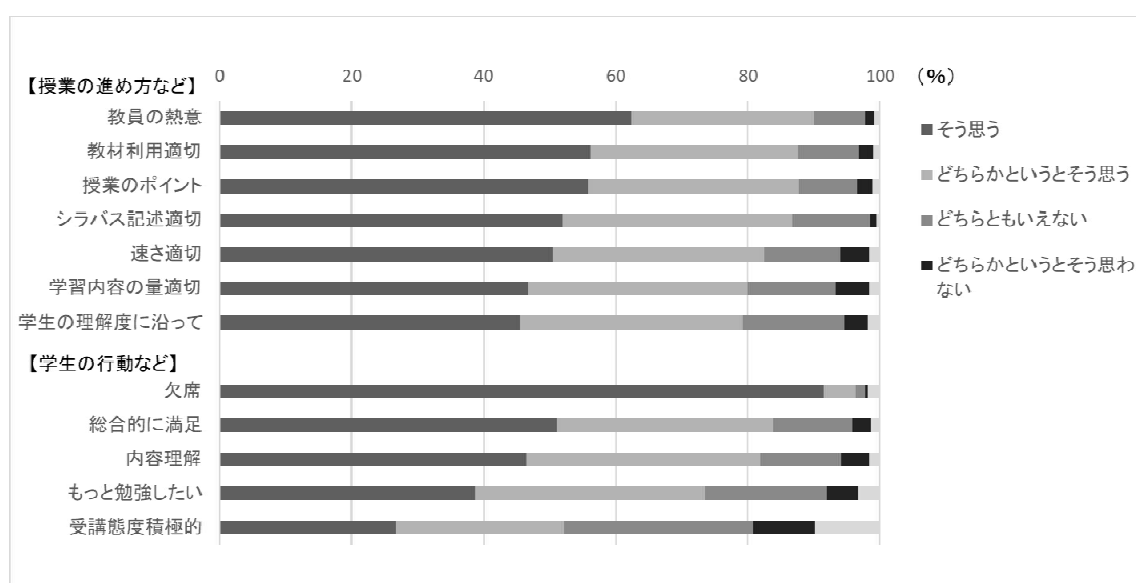
令和 3 年 3 月 13 日

IR センター

桂瑠以

令和 2 (2020) 年度前期の学生による授業評価アンケートは、7 月 13 日から 17 日の 5 日間、原則として全ての専任教員担当科目と任意参加の非常勤講師担当科目について実施された。実施科目は 365 科目であり、学生による平均の回答率は 67.6%であった。今年度は、コロナの影響により、オンライン授業となったことを踏まえ、項目内容の検討を行い、前年度の項目をもとに、オンライン授業にも対応するように一部修正した。その結果、授業の進め方に関する 7 項目、学生の行動・理解に関する 6 項目を用いた。

分析の結果、授業の進め方に関する 7 項目では、全ての項目で約 75%以上の学生が適切である（そう思う、どちらかというと思う）と回答した。一方、学生の行動・理解に関する 6 項目では、積極的な受講態度と予習復習について 70%以下の学生が肯定的な回答で、もっと勉強したいが 75%を下回っていた。その他の項目では 75%以上が適切な行動・理解を示す回答であった (Figure 1)。この結果を平成 31 年の結果と比較すると、おおむね同様の結果であり、今後、学生の積極的、自主的な受講態度、予習復習についての指導を行うことが望まれる。



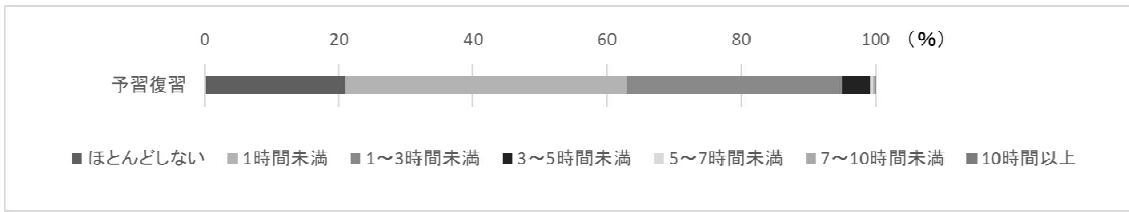
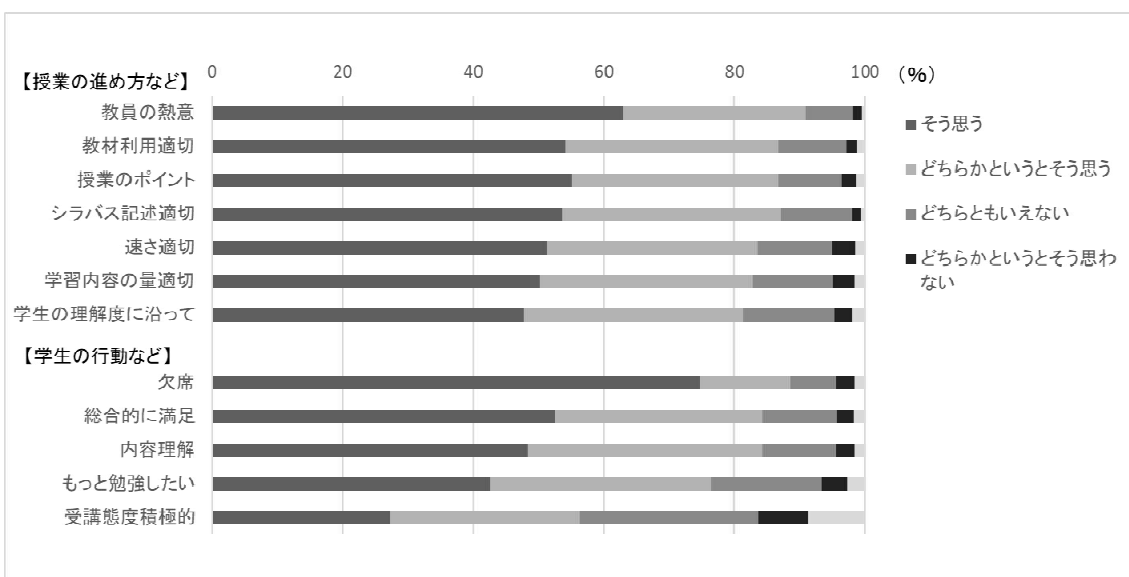


Figure 1. 令和2(2020)年度後期講義科目における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリー別の相対度数。欠席は、左から0、1、2、3、4回以上を示す。予習復習のみ7件法、その他の項目は5件法。

後期の学生による授業評価アンケートは、11月30日から12月4日の5日間、原則として全ての専任教員担当科目と任意参加の非常勤講師担当科目について実施された。実施講義科目は444科目であり、学生による平均の回答率は52.2%であった。

分析の結果、前期と同様に、授業の進め方に関する項目では、全ての項目で約75%以上の学生が適切である(そう思う、どちらかというと思う)と回答した。一方、学生の行動・理解に関する項目では、積極的な受講態度と予習復習について肯定的な回答をした学生は70%以下であった。その他の項目では75%以上が適切な行動・理解を示す回答であった(Figure 2)。この結果を平成31年の結果と比較すると、もっと勉強したいという回答がやや上昇したものの、おおむね同様の結果であり、今後、学生の積極的、自主的な受講態度、予習復習についての指導を行うことが望まれる。



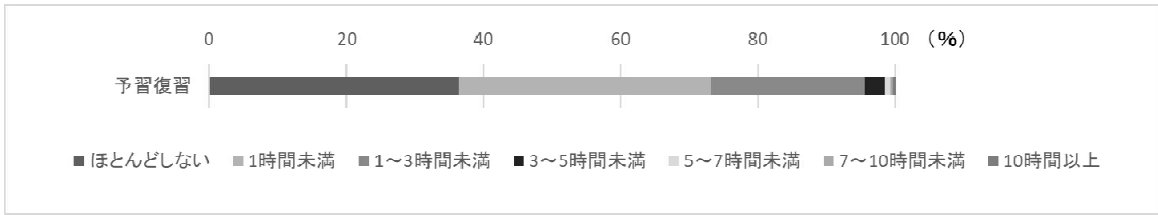


Figure 2. 令和 2 (2020) 年度前期講義科目における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリー別の相対度数。欠席は、左から 0、1、2、3、4 回以上を示す。予習復習のみ 7 件法、その他の項目は 5 件法。